

質問 介護人材確保のための取り組みは。

答弁 市内高校生を対象としたセミナー開催に加え、今年度から中学2年生を対象に冊子を配布し、介護人材の確保に努めているほか、秋田県でも、介護人材の確保と定着のための対策を行っている。

質問 医師確保対策支援補助金の内容及び病院支援補助金により、かづの厚生病院では具体的にどのような充実が図られたのか。

答弁 当該補助金は、小児科と産婦人科の非常勤医師に係る経費及び各診療科の非常勤医師招へいの際の旅費の2分の1を補助している。かづの厚生病院支援補助金は、国の特別交付税を財源として、救急医療10床、小児医療8床分の確保に充てられている。

質問 農地の集積状況と中山間地など条件の悪い農地への対応は。

答弁 令和3年度末の人・農地プランにおける集積率は55%。農業委員会において行なっている農地パトロールにより、農地として再生が困難と認められた土地は、農地台

帳から除外した上で、所有者に対し登記地目の変更手続きをお願いしている。

質問 湯の駅おゆ販売体制強化事業について、販売体制強化事業補助金1千万円を支出しているが、令和3年度におけるイベントの開催実績は。また、指定管理者の収益や採算性をどのように捉えているか。

答弁 令和3年度は16件のイベントを実施している。

指定管理者の恋する鹿角カンプニーに対しては、建物の管理料の支払いはないが、販売スペースが少なく、過去3年間の実績は、毎年度1千万円ほどの損失が出ており、それを本補助金で応援することにより、事業が継続できる段階まできている。

質問 市民が主体的に行う市道等の維持作業への支援実績は。また、大雨災害後の側溝の土砂撤去などにも対象を拡大できないか。

答弁 支給資材運搬やクリーンアップで収集したゴミの運搬委託が16件、草刈機の刃や油、レミフアルトなどの原材料支給が43件。土砂撤去な

どについては、要請に応じて重機の借上げや器具を貸出しているが、今後の道路施設の管理についても自治会等の協力も得ながら進めたい。

質問 児童生徒学力向上対策事業について、令和3年度においてハイパーQ U検査を1回から2回に回数を増やした理由とその効果は。

答弁 PDCAサイクルにおいて、年1回の実施では有効性が低いという教育現場の声も踏まえ、年2回の実施とした。学級全体の特徴や支援が必要な児童生徒について早急に把握でき、各校の事例や有効な手法、実践などの情報共有により、2学期以降の児童生徒の支援につなげることができた。

一般会計全体への意見

第7次総合計画、第2期鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略の初年度となる令和3年度決算について、計画に掲げた各事業は良好なスタートを切ったと評価している。国民生活もウィズコロナへと切り替わりつつ、国内景気の復調に期待する一方、円安

や物価高騰は、市民生活に大きな影を落としており、経済対策は継続して実施していく必要があると感じている。引き続き、国内外の情勢に常に高いアンテナを張り、情報収集に努めてほしい。

国民健康保険事業特別会計

質問 特定健康診査について、受診率が35%前後だが、受診率向上への取り組みは。

答弁 国では令和5年度の全国への受診率目標を60%と掲げていることから、未受診者への勧奨通知の発送や市民メーラー等を活用し、受診率向上に向けて事業を進める。

介護保険事業特別会計

質問 高齢化の進行による、今後の介護環境をどのように考えているか。

答弁 75歳以上の方の人数が最も多くなる時期を令和7年と見込んでいる。老後もサービスなどを利用しながら、住み慣れた環境で過ごしてもらえよう、介護予防の取り組みを進める。なお、現在のところ老人福祉施設の増設予定はない。